

阪急西宮カーデイズに展示された新型CX-5。販売店以外にも実車を展示し、魅力を広く伝える（兵庫県西宮市）

内安影響注目

きょうから発表

中電31日 マツダ4日

トクヤマ（周南市）表示。中国電力は、マツダは8月4日定。ピークの同7日島ガス（広島市南区）療機器製造のJMS（区）など17社が発表。東情勢の悪化後、ニヨーク原油先物相国際指標は一時1110ドルを超えた。場は今月、39年ぶり163円台に下など内安傾向が続各社の業績にどうするかが焦点になる

東情勢の影響で27年期的純損益予想を現で示していないの総合化学メーカーの（周南市）とトク化学メーカーのマク・ケミカル・パー

茶道体験をする外国人観光客



書・茶・琴... 8種類ブース

シャレオに和文文化体験処

来年3月まで 外国人客呼び込み
紙屋町地下街シャレオ（広島市中区）を運営する広島地下街開発（同）は27日、日本文化を体験できる「和文文化体験処ひろしま」をシャレオ西通りの空き区画にオープンした。来年3月末までの期間限定で、外国人観光客たちを呼び込む。約100平方メートルの区画に書道（30分2千円）や茶道（20分2千円）、福山琴の演奏（20分2900円から）など8種類の体験ブースを用意した。広島県内で日本文化の普及活動に取り組む企業や団体が各ブースを運営する。ウェブサイトで事前予約を受け付ける。営業時間は午前10時〜午後6時。プログラムは順次増やす。初日は早速、茶道を体験した外国人観光客もいた。講師が茶をたてる様子に興味深そうに眺めた



インドネシア生産開始

マツダ、CX-30が1車種目

マツダは28日、インドネシアでスポーツタイプ多目的車（SUV）CX-30の生産を29日に始めると発表した。首都ジャカルタ近郊の西ジャワ州の組立工場で造る1車種目。マツダは出資せず、インドネシアで組み立てを始めるCX-30



現地の企業が運営する。現地の自動車製造会社で、マツダの販売代理店を務める企業グループを通じて生産を受託した。

主要部品を輸入して組み立てるノックダウン方式で造る。東南アジア諸国連合（ASEAN）での生産拠点は4カ国目。日本からの輸入を現地生産に切り替え、関税負担の軽減やブランド価値の向上につなげる。マツダは2025年にインドネシアで3372台を売った。東南アジア

ではベトナム、マレーシア、タイに次いで多い。小型車マツダ3やSUVのCX-5などを含めた9車種を販売している。この日、現地での式典で中島徹上席執行役員は「インドネシアをアセアン地域の重要拠点の一つとしてビジネスを反転させる」と語った。（口元惇矢）

ツダは今年に入って情報に逆風が吹いていた。発信のギアを上げていく。マツダが初代CX-5発売の翌13年に発表した宣伝スローガンが「Be with you」だった。マツダの戦略を追う。



燃料には、岩国市内の山林整備で出た枝や端材などを年約2万8千トンの山林の手入れにつながり、残材による土砂災害も防ぐ。「本来捨てられていた物が価値を持つ。地域のカーボンニュートラルにも貢献したい」と力を込める。（伊藤友二）

「積乱雲」。地面付近の湿った空気が上昇気流に乗って上空に押し上げられ、冷やされてできるよ。高さ10メートル以上で成長することもあり、背が高い分、落ちてくる間に雨粒同士がくっついて大粒の雨が降るよ。

監修 なぎさ公園小

鶴学園 学校法人 愛なり